

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

丹波篠山市立味間認定こども園

園長 上山 結美子

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

<p>○教育・保育目標：よく食べ・よく遊び・よく学ぶ子どもの育成</p> <p>○めざすこども園像：みんなで伸びよう・笑顔いっぱい・楽しい認定こども園</p> <p>○めざす園児像：なかよく・げんきよく・夢中になって遊ぶ子・気持ちよくあいさつができる子</p>
--

2 今年度の重点目標

<p>○認定こども園として教育と保育を一体的に行い目標の具現化に取り組むとともに、学び合い高め合える職員集団を目指す。</p> <p>○基本的な生活習慣を身に付け、安全で規則正しい生活ができる園児の育成。</p> <p>○積極的に地域に出かけ、自然に触れたり、地域の方と関わったりしながら多様な体験活動の充実を図る。</p> <p>○研修の充実を図り、主体的に活動する園児育成のための保育や特別支援教育にかかる研修を深める。</p>
--

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園運営	・家庭や地域と連携した危機管理体制を推進し、安心・安全な園づくりに努める。	B	・毎月安全点検を実施（毎月違う職員が点検する）し、不具合箇所については速やかに対応するようにした。
	・園・学級経営方針・保育内容などについてわかりやすく伝えるように努める。	A	・非常訓練を毎月行い、園児・職員共に安全意識を磨く場とした。 ・園便りやクラス便り、ホームページやドキュメンテーション等で、保育活動について伝えた。
教育・保育過程	・身近な自然と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。	A	・園内外の自然に触れる機会（時には保育者が意図的に園内に持ち込む）や栽培活動を通して、園児の興味関心が深まるような保育に努めた。
	・個々の発達段階や特性に応じた指導・援助に努める。	B	・各関係機関との連携を密にし、個に応じた指導・支援に努めた。また、保護者との連携を密にし、思いに寄り添えるようにした。
課題教育	・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。	B	・「眠育」では、保護者会主催で外部講師を招いた講演会を行った。「食育」では、食育便りを毎月発行し、園での活動状況や食育の情報発信に努めた。
	・「遊び」を通して安心感や達成感を味わい、主体的に生活できるような保育教育活動に努める。	A	・園児の思いに寄り添い、信頼関係を深めることで安心感につながり、主体的な活動が増えるような環境構成に今後も努める。

#### 4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・直接的な体験を通して心身共に豊かに育っていくことから、今後も多様な経験ができる環境づくりに努めてほしい。
- ・めざす園児像“夢中になって遊ぶ子”になるためにも、主体的に活動する園児育成のため、研修の充実を図り、研修での学びを実践につなげてほしい。
- ・こども園の良さである0歳児から5歳児まで同じ場所で進級していくことを生かし、基本的な生活習慣を身に付け、安全で規則正しい生活が送れるように今後も援助してほしい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・友達と関わりながら、自分で考えたり、見つけ出したりしている姿を目にした。様々な経験を通して身についたことだと感じた。
- ・今年度、保護者講演会が実施されたが年に一度はそのような研修があればいいと思う。「親育て」という役割も園は担っていると思う。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域と連携した危機管理体制を推進し、安心・安全な園づくりに努める。</li> <li>・園・学級経営方針・保育内容などについてわかりやすく伝えるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検や非常訓練の実施、また職員研修も行っている。先日（2/14）の地震発生時には園児が自ら行動できていたと聞いた。また保護者アンケートにも同様の意見があり、訓練の成果が現れていると嬉しく思う。</li> <li>・ホームページの更新やドキュメンテーションの掲示等で保育内容についての発信ができています。また、アンケート結果からも保護者に伝わっていることがわかるので今後も家庭と園が同じ方向に向かって、教育・保育をしていってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。</li> <li>・個々の発達段階や特性に応じた指導・援助に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時には保育者が意図的に自然物を持ち込んで触れる機会を設けていると聞いて嬉しく思う。今後も季節を感じ、丹波篠山市の特産物に触れる機会を増やしてほしい。</li> <li>・今後も関係機関との連携を密にし、個に応じた指導・支援に努め、保護者と同じ方向を向いて同じ支援ができるように努めてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。</li> <li>・「遊び」を通して安心感や達成感を味わい、主体的に生活できるような保育教育活動に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会主催の「眠育」講演会が実施されたことはとても良かった。参加者が少なかったのは残念であるので、次年度は開催時期や方法について再考してほしい。</li> <li>・「眠育」「食育」に関しては園だけの取り組みでは不十分なため、家庭との連携をさらに深めてほしい。</li> <li>・「明日もこども園でこの遊びがしたい」という思いを大切に、一人一人に応じた保育に努めてほしい。</li> </ul>

